



- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
最初の原稿料 作家 椎名 誠



- 4 インタビュー／扉を開く  
僕はシューズで金メダルを狙う シューズ職人 三村仁司



- 9 地域の底力 ― 豊岡市  
コウノトリが大空を舞う町・豊岡市を訪ねて  
兵庫県豊岡市祥雲寺
- 16 対談／守・破・創  
どこの国にも勤勉な人も怠け者もいる  
ビジネスに先入観は禁物だ  
タカタ株式会社代表取締役会長 高田重一郎 タカタ株式会社特別顧問 高田暁子  
日本銀行政策委員会審議委員 水野温氏



- 20 にちぎんのある街から  
釧路 ― 産業を育んだ自然を残す



- 24 貨幣の歴史学  
江戸時代の金座と小判の製造工程 国立歴史民俗博物館准教授 齋藤 努

- 28 大人のための日銀見学ガイド  
日本銀行金融研究所貨幣博物館

- 32 トピックス

- 35 AIR MAIL from HONG KONG  
移りゆく香港ドル

## 表紙のことは

日本銀行が釧路に初めて派出所を開設したのは明治二十六年四月。その後、明治三十一年十二月、根室派出所とともに廃止となるが、戦後、道東地区の経済開発が重要視され、地元の強い誘致運動もあって、昭和二十五年、釧路支店設置が決定した。釧路川河畔、幣舞橋の袂にある現店舗は、銀行建築の第一人者・西村好時氏の設計により建設、二十七年九月に竣工、同年十月一日、業務を開始した。周辺には、北海道三大名橋の一つと呼ばれ欄干に彫刻「四季の像」を配する幣舞橋や、木立に囲まれた出世坂、四季の花々で彩られた花時計があり、釧路の代表的な美しい景観とされる。同店の建物もそれに貢献したいと、霧の幣舞橋にも映えるよう外壁のお色直しを行い、長年、市民や観光客に親しまれてきた。残念ながら、五五年の歳月で老朽化が進み、手狭になったことから、三年後に幸町の再開発地区に移転することが決定されている。

